

http://www

Happy-Hamakan-News (HHN)

浜田医療センター附属看護学校

浜医看学発 2014. 5 月
第 1 巻 第 1 号

入学式挙行

新入生歓迎会の開催

就職ガイダンス開催

春のスポーツ大会の開催

ナイチンゲール生誕祭行事

特別講演【臓器移植について】

節約を考えよう～電気ガスの使用量調査結果～

独立行政法人国立病院機構
浜田医療センター附属看護学校
〒697-8512 島根県浜田市浅井町 777-12
0855-28-7788
mail : hiyoko1@lime.ocn.ne.jp
http://www.hamakan-nh.jp/

発行責任者 石黒真吾
編集責任者 中田佳代子
編集 花子紀子、田儀千代美、藤井光輝
隈部直子、小田川良子、畑中美保、
豊福瑞穂、三家本八千代、
岩成美樹、松野由香、金山和正



Happy-Hamakan-News (HHN)
浜田医療センター附属看護学校

はじめに

教育主事 中田佳代子



新入生62期生37名を迎え、全校学生123名、教務室のメンバーも新たに加わり、平成26年度が始まりました。平成26年度は、運営目標を達成するため、“しあわせになる - HAPPY”をスローガンに掲げ、キーワードとして対話・先見性・変革をあげました。そして、4つの組織、①学科指導のための組織、②実習指導のための組織、③FD学校評価・研究・研修のための組織、④学校事務のための組織の活動をスムーズに機能させていきたいと考えています。

今年度学校便りのネーミングを新たに学校とコミュニケーションを進めるために、学校の様子や教育活動について広く、わかりやすい情報発信をめざします。学校の行事イベントだけでなく、普段の講義や実習など学習活動、保護者からのおたよりや講師の紹介、担任の思いなども掲載できたらと考えています。当校の様子を肌で感じていただき、学校の教育にご支援ご協力お願いいたします。

入学式挙行

平成 26 年度 62 期生 37 名 4月4日入学式挙行

1年生担任 豊福 瑞穂



4月4日当校5階講堂において入学式が挙行されました。式典では学校長からの式辞がありました。浜田保健所長、浜田市市長から祝辞をいただき、平成26年4月4日に入学式が行われました。入学式には入学生、来賓の方々、学校職員、病院職員、在校生が参列しました。

学校長式辞では、医療職を目指す新入生への期待、当校の教育内容や医療センターのバックアップ体制について、言葉を贈りました。そして以下のナイチンゲールの言葉を贈られました。

- 一、信頼に足ること
- 一、時間を厳守すること
- 一、静かに、そして秩序を守ること
- 一、清潔に、そして清楚に
- 一、忍耐強く、郎らかに、そして親切に

「歓迎の言葉」では上級生が新入生に学校の行事や学習についてどんなことがあって自分の成長につながるのか、臨地実習で感じ学んだ”人に関わる職業の素晴らしさ”を伝えました。そして、共に成長していきたいと贈りました。

「誓いの言葉」では新入生代表が、自分が入院した時に看護師が心遣いを持ち小さなことまで気づき対応し、支えになったことで乗り切れたことを取り上げ、その時に受けた心遣いができる存在になれるように三年間過ごす人たちとの出会いを大切に、成長への種を見つけていきたいと述べました。

これから入学してきた37名の学生が成長していけるように学校職員一同尽くしていきたいと思えます。



入学生の状況

入学生の背景と学生への指導について

島根県の平成 21 年の高等学校卒業生人数は 6,852 人であったが、平成 26 年の卒業予定数は全国で 2 番目に少ない 6,177 人と 5 年で約 700 名の卒業生（受験生）減少でした。また、島根県では地域の高齢化、看護師不足に対応するために、この 3 年間で看護学校の数が 2 校増え 10 校となり、受験生を確保するのが最も難しい県の 1 つといえます。

また、優れた看護師の育成においては 3 年課程という大きな時間的制約の下では専門の職業人としての十分な能力を教授研究しきれない状況にあるとされ、毎年 10 校前後のペースで看護大学（学科）がつくられて看護大学の数は 209 校になりました。

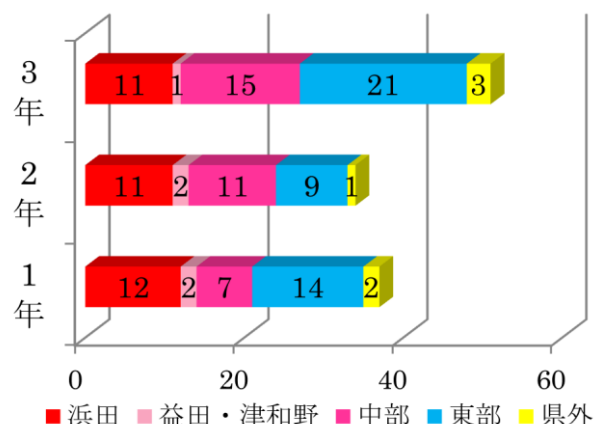
このような背景の中であっても、当校に学力なども含めた“質”の高い学生を確保し、3 年という制約下においても社会に通用する看護職を育成するような教育力を持ち、当院や独立行政法人系列に就職（貢献）する学生を育てるのが当校の課題といえます。

入学者の状況を見ると 1 年終了時は、年によって異なるが一般試験か推薦で入学した学生どちらかが有意に成績が良い ($P < 0.05$)。しかし、2 年次および 3 年次には一般試験入学と推薦入学の学生に違いは見られませんでした。一般試験入学者、推薦入学者ともに卒業時には同様の力を身につけて卒業していくことになります。入学後にどのように学習をしていくのかが大切といえます。学生の入学前の学力に目を向けるのではなく、入学してから伸びていく医学・看護に関する知識を身につけていく力を持っていることに目を向けて、みんなで育てたいと思います。最初は苦手意識を持つ科目も多いのですが、各論実習中に解剖生理学などを意識して学べるように声かけを適宜行っていきます。このことが、3 年という制約下においても社会に通用する看護職を育成すること、当院や独立行政法人系列に就職するような帰属意識につながり、質の高い看護師の確保や病院発展につながると考えています。



1) 出身別学生状況

図 1 平成 26 年度
出身者地区別学年別学生数



2) 第 103 回看護師国家試験 100%合格!

①看護師国家試験受験状況

	受験者数	合格者数	合格率
H25 年度	35 人	35 人	100%

②第 103 回看護師国家試験合格基準

(平成 26 年 3 月 25 日厚生労働省)

必修問題及び一般問題 1 問 1 点、状況設定問題 1 問 2 点とし、次の①②のすべての基準を満たす者を合格とする。

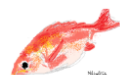
	必修問題	一般問題	状況設定問題
問題数	午前午後共に 25 問 計 50 問	午前午後共に 65 問 計 130 問	午前午後共に 30 問 計 60 問
合格基準	① 40 点以上/ 50 点	② 167 点以上/250 点	
結果(当校平均点)	46.9 点	200.7 点 (80.2%)	



新入生歓迎会の開催



学生自治会主催の新入生歓迎会を入学式後に開催しました。各学年の歓迎のパフォーマンスや、クラブ活動の紹介、教務室の出し物から、新入生へ仲間づくりの1ページとなりました。本当に楽しい時間でした。実行委員の温かい企画が身に染みたとお思います。皆様よろしくお願いたします。



当校における就職ガイダンス



4月30日に当校で就職ガイダンスを開催しました。まだ就職や進学が定まっていな学生の示唆にならないかと考え、中国四国から6施設の病院の方々によるプレゼンテーションとブース別での個別相談に応じていただきました。プレゼンテーションでは、各施設の特徴や新人看護師教育、福利厚生などの説明がありました。各ブース別では、宿舎や先輩がどんな感じで働いているのかなど実情も踏まえながら学生に説明していました。



Voice

- ・病院の特色がよく理解でき、進路選択としても考えることができた。
- ・ガイダンスを聞き、実際の臨床現場をイメージすることができた。また、方向性を考えることができた。
- ・実際に働いている先輩から生の声を聞くことができ、就職の助けとなった。
- ・話を聞いて、今までは“どんな病院で働くか”ということしか考えてなかったが、“どんな看護をしたいか”ということをまず考えて、それが叶う病院を選択するという考え方もあると思ひ、就職に対する考えを改める機会になった。
- ・様々な病院について知ることができ、興味も増えたため、学習意欲も出た。

春のスポーツ大会

5月2日に島根県立体育館でスポーツ大会が開催されました。各学年が5種目を通して争いました。「ドッジボール」と「バレーボール」はどちらかに学生が全員参加して、各学年のチームワークを磨き合い、優勝を目指しました。

午後からは「借り人競争」「大縄跳び」を行い学年別での交流を図りました。応援も力が入り、全員で楽しんだ1日でした。優勝は2年生、団結賞は3年生となりました。1年生は来年度に向けてこれから体力や団結力をつけて2種目制覇を目指します。



平成26年度 ナイチンゲール生誕祭を開催

午前 第一部：

震災が与える環境の変化 ——今、私たちのできることを考える——

【講師】 J A広島総合病院

日本赤十字広島看護大学大学院

災害専門看護師過程 寺田英子先生

日本DMAT隊員 阿部伸也先生

午後 第二部：院内、学校内外清掃活動



5月1日にナイチンゲール生誕祭を開催しました。ナイチンゲールは患者の療養環境を整えることで患者の死亡率を大幅に下げ、環境を整えることが重要であるということを統計的に示した人です。**第一部**講演では、震災により集団生活をしなくてはならなくなった上での問題点や震災関連死など看護師になる私たちがどのように理解して関わっていくのかを投げかけられました。後半のグループディスカッションで、震災後の経過の中で看護者としてできることを考える必要性を実感しました。**第二部**には、浜田医療センターの病棟と外来、特別養護老人ホーム偕生園、ジェンナー碑に分かれて清掃活動を行いました。車椅子を磨いたり、ジェンナー碑の周辺の草刈りなどを精一杯行いました。学生一人ひとり環境整備の重要性を改めて実感しました。これからの実習でも活かせるように関わっていきたいと思います。



平成 26 年度 ナイチンゲール生誕祭を開催

【第二部】

午後から浜田医療センターの病棟と外来、特別養護老人ホーム偕生園、ジェンナー碑に分かれて清掃活動を行いました。環境を整えることでリズムのある生活や衛生的に問題の少ない環境で生活が送られること、特に抵抗力の低下した人たちには重要なことだと再認識した1日でした。



Voice



2年 隅井成美、新畑佳耶

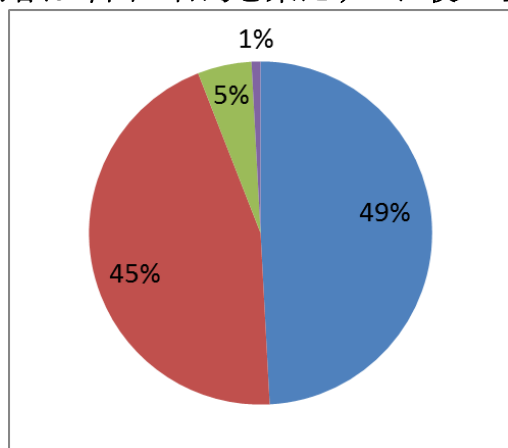
ナイチンゲール生誕祭の講演と清掃を通して環境について改めて考えることができました。特別講演では、今まで実施したことのないグループディスカッションを行い、各学年自分たちの今ある知識を出し合い学びを深めることができました。災害は被災者の人生と環境を大きく変化させます。2011年3月11日に起きた東日本大震災から3年が経ち忘れられかけています。また、復興支援も徐々に少なくなってきています。しかし、今回の講演で災害直後は生きること必死だが、生活が落ち着いてきた今になってやっと悲しみが一気に押し寄せることを知り、災害が起きた直後だけでなく、落ち着いた頃こそケアが必要と感じました。また、清掃では日頃の感謝の気持ちを清掃という形で伝えることができたと思います。

ナイチンゲール生誕祭後のアンケート結果

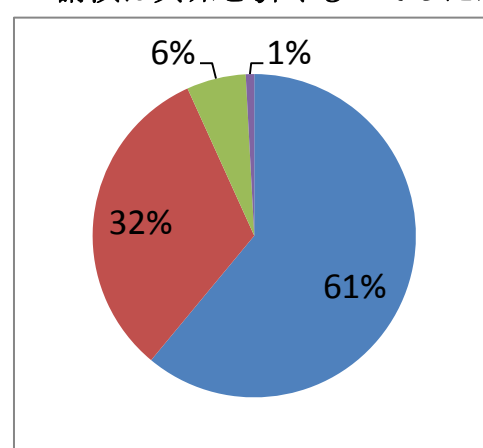
今回のアンケートは、自由記載と4件法（間隔尺度：■そう思う、■どちらかといえばそう思う、■どちらかといえばそう思わない、■そう思わない）で効果をみました。各項目に関して一元配置で分析し、有意差があった場合は各学年間での違いを分析しました。

回収は117名分（99.6%）であった。

1. 講演内容は今回の目的を果たすのに役立ちましたか



2. 講演は興味を引くものでしたか



1. 看護学生らしい真摯な態度で臨む

講演会の前に事前に災害について個人で学習をして臨みました。「目的を果たすのに役立ったか」と「積極的に参加できたか」に関してはどちらも94%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」でした。「自分の考えだけではなく他者の意見も聞けて学びになり刺激になった。」や「もっと勉強しよう」と気持ちを改めるきっかけになった。」など、学生として学習をし続けなくてはならないと感ずることができました。

2. 全学年で初めて行うイベントのため親睦を深める機会とする

今回の講演では、初めてグループディスカッションを取り入れ、各学年での意見交換を行う形としました。そのため、「グループワークを通して全学年でディスカッションして学びや知識を共有したり、深め立ちできて良かった。」など学年間での交流を図る機会となりました。

3. 環境について理解を深める

事前に講師と数回の内容調整を行い講演の後にディスカッションを行い環境理解することに至りました。「災害によって全ての人々が身体的にも精神的にも傷ついてしまい生活するのにいろいろな苦労があることを改めて感じた。それぞれの人が生活しやすくなるように環境を整えることが一番大事。」「被災地での看護は普段病院などで行うのとは違い、環境的な面が整っていなかったりして、より多くの知識や周りを見る力が必要だと思った。」などの意見があり、「目的を果たすのに役立ったか」でも94%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」であったように、災害時の環境の理解を深めることができたと考えます。

今回の目的を果たすのに講演が興味を引くものだったのかは相関が高かった ($r=0.91$)。講演内容次第で目的を果たせるために、今後も目的を満たせるような講演を企画していきたいと思ひます。



特別講演『臓器移植について』 1年生37名が受講

5月9日に「臓器移植について」コーディネーターによる説明会を設けました。

臓器移植の前提として、臓器移植を強要するのではなく、臓器移植とはどのような意味があるのか、どのような方法で行われるのかの説明でした。

お話の中では移植に関する歴史、法律、移植基準（レシピエント選択）、そして映像で実際に臓器提供がなされたAさんとその家族、医療従事者の生の声や姿を見て、自分たちが患者、家族、その友人たちにどのように関わっていくべきなのか、移植を決定する家族の心の内をどのように汲み取るのか考える機会となりました。

移植を決定するという事は、その人が生き続けたり、移植を待っている人たちの希望になる、患者自身の思いを汲み家族としても納得できることがわかりました。その一方で辛い選択になることもあるので、患者や家族に寄り添いその人たち自身の思いにならなくてはならないと感じました。そして、自分自身はドナーになるのか、家族はどのように思うのか、なぜそのように思うのか考える機会ともなりました。



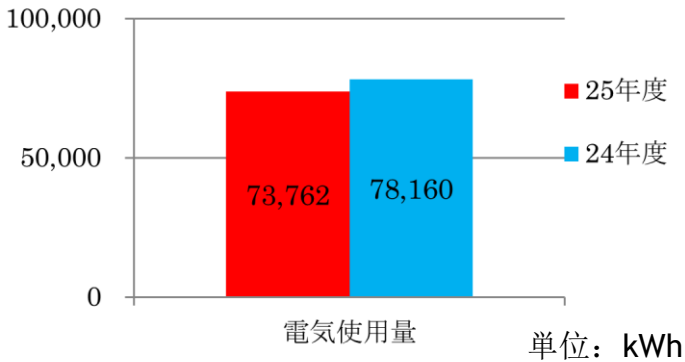
Voice

- ・今日の話聞いて臓器提供をしたいと思います。誰か知らない人ではなるけれど、役に立てるなら提供したいと思ったからです。しかし、実際に家族は臓器移植するとなると苦しいだろうと思います。家族の死を受け入れないといけないからです。
- ・今回、臓器移植に関する知識を深めることができました。私もしっかり意思表示していきたいと思います。

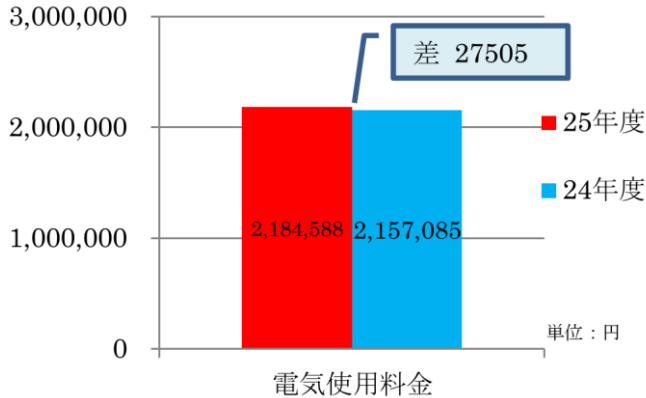


平成 25 年度 ガス・電気使用について

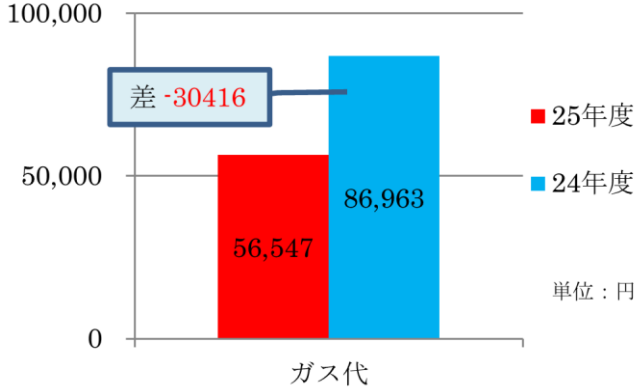
電気年間使用量 24 年度、25 年度比較



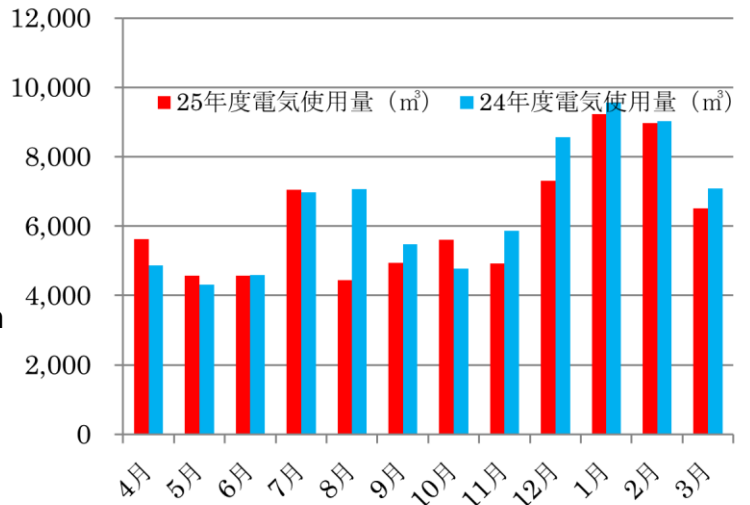
電気使用料金 24 年度、25 年度比較



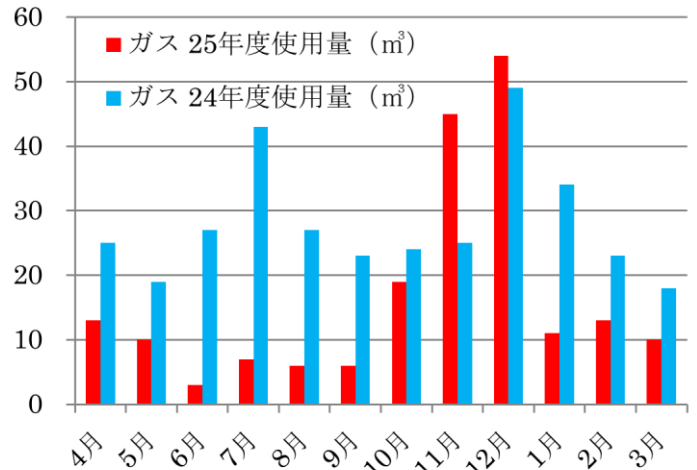
ガス年間使用料 24 年度、25 年度比較



電気年間使用量 24 年度、25 年度 (月別) 比較



ガス使用量24年度、25年度 (月別) 比較



平成 25 年度の電気・ガスの節減について報告します。ガスの使用量は、24 年度より減少しています。電気の使用量についてはやや減となりました。しかし、金額については、電気の資料料金は 1 kWh 当たりの単価の上昇により大幅に 24 年度より増加したため、年間使用料金が増加しました。

ガスの使用は、看護技術の演習で使用することがほとんどで、1 年の学生数が影響しています。24 年度の学生数は 53 名、25 年度 34 名でした。電気の使用は学生数はあまり影響しませんが、8 月の施設使用を効果的に計画したため、節電となりました。瞬間電気使用量が上がると電気単価が上がるため、今後は瞬間電気使用の仕方を工夫していく必要があると思います。今年度学生とともに節減対策を立てていきたいと思っています。

(文責：教育主事)



看護技術教育演習

「指導者さんに見てもらおう」を開催します！

日時：6月26日(木)14:00~15:00

場所：看護学校実習室

例年1年背は看護技術の演習に臨床の指導者の方々に来ていただき、熟練した看護技術のコツや技術習得の仕方についてご指導をいただきます。指導者の方と看護の面白さや学ぶ楽しさ、移動技術を通して、看護職の安全意識を高め、指導者さんからアドバイスを学生がどう受け止め、自分の中に取り入れていくプロセスや関係の持ち方を学びます。皆様、ご協力をお願いいたします。

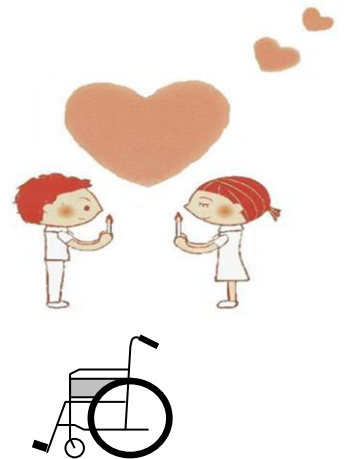
オープンスクール第2回の開催(お知らせ)

日時：7月26日(土)

場所：看護学校

内容：ハンドマッサージでうっとり

沐浴～ベビーちゃんの心も体もポッカポカ～ 等



高校生・中学生・小学生の皆様、そして社会人の皆様 1日看護学生の生活を体験してみましょう。学生一同心を込めて準備して参ります。ご参加をお願いいたします。近くなりましたらホームページ等でご案内いたします。



編集後記

5月の連休明け、学生の緊張はピークに達しています。3年生は実習記録や事前学習、国家試験対策に追われ、この緊張がいつまで続くかと不安な内日です。2年生は4月・5月の行事企画を終え、ちょっと一息つく間もなく、基礎看護学実習Ⅱへ向けてこれまた緊張の最中です。1年生は、基礎看護技術の演習や技術チェックが始まり、自分の体を使った新しい学習に必死で取り組んでいます。学生も教員も新たな挑戦は続きます。教員も学生と緊張をときつつ、もてる力を発揮できるよう日々の取り組みを振り返りつつ、成果を確認する新聞づくりに学校皆で挑んでいきたいと思えます。皆様にも原稿依頼に参りますので、ご協力よろしくをお願いいたします。



オープンキャンパスや受験情報など
詳しいお問い合わせは



0855-28-7788

浜田 看護学校

